

原 著

# 患者さんの正しい服薬のために —服薬アドヒアランスの視点から—

長岡中央総合病院、薬剤部；薬剤師

近藤万記子、濱崎真沙子、滝沢 久葉、齊藤 龍弥

目的：持参薬調査依頼があった患者の服薬状況を調べて、アドヒアランスの考え方をういた正しい服薬指導のあり方を検討した。

方法：8西病棟（消化器内科）入院中の患者66人に入院前のコンプライアンスを聞き取り調査した。

成績：48.5%の患者が薬の服用を忘れることがなく毎回服用できているのに対して、51.5%の患者が服薬コンプライアンスに問題があった。

結論：持参薬調査より、約半数の患者が服薬コンプライアンスに問題があるという結果が得られた。患者の服薬継続支援には、良好なアドヒアランスを維持することが重要である。患者の意欲を向上させることが、長期に渡る治療に大きく影響することから、服薬指導をする上で、患者一人一人のニーズに合わせたアプローチが必要となる。よって、薬剤師は問題解決能力とコミュニケーション能力を向上させる共に、患者の訴えには真摯に耳を傾け、必要な情報をわかりやすく提供することが重要だと考える。

キーワード：服薬コンプライアンス、服薬アドヒアランス

## 結 果

医師の指示より持参薬調査依頼のあった患者に対して、持参薬と患者情報を薬剤部に提出してもらい、薬を鑑別し、服薬状況を調査する。鑑別報告書と薬歴管理表を作成には、富士通の服薬指導支援システム PICS (Pharmaceutical Information and Cara Support System) を用いる。薬剤師は、初回面接用紙(図1)を用いて、患者のベットサイドにおいて、服薬指導を行う。

一般的に患者は退院後も治療のために服薬を継続する必要がある。しかし、今回8西病棟（消化器内科）における66件について、過去2年間の服薬状況を調査したところ、32件(48.5%)が薬の服用を忘れることがなく毎回服用できていると解答したが、29件(43.9%)が時々薬の服用を忘れる、4件(6.1%)が全然薬を飲んでいない、1件(1.5%)が調節していると解答した(図2)。本論では、患者の服薬継続支援の方法として、アドヒアランスの重要性とその推進に当たって、留意すべきことについて考察した。

## 考 察

患者本人は正しく薬を服用していると思っても、医師より処方された薬の日数と残数が合わず、誤認していることが多いことがわかった。飲み忘れの理由として、医療スタッフの説明不足や患者の服薬の知識不足などが問題と思われた。例えば、薬の正しい知識を持たず、服用を継続しないといけない薬(例：降圧剤等)を内服中止していたことや、医師の指示通り服用しないといけない薬(例：抗生剤等)を自己調節していたことがあった。薬剤師として、正しい服薬説明を提供することで、患者の治療への意識が高まり、主体的に治療に参加することができた例を経験した。患者が必要とする情報をわかりやすく提供することはいかなる場合でも重要であると考えられる。

## 結 言

アドヒアランスとは、患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けることである。これにより、患者の治療に対する意欲が向上し、長期間に渡る治療の効果が高まることが期待される。アドヒアランスの推進に当たっては、医療者は患者と接する時、一人一人に対するアプローチが異なることを念頭に入れ、周囲のスタッフとコミュニケーションをとり、情報を共有することが重要であると考えられる。さらに、患者とは治療のための問題点も合わせて話し合い、患者自らも主体的に治療方針の決定に携われるよう促すことが重要である。

## 対 象 と 方 法

8西病棟（消化器内科）において、2009年4月から2011年4月までの2年間に持参薬調査依頼のあった66件について、初回面接を行い、入院前のコンプライアンスを調査した。

## 英 文 抄 録

Original article

Good medication compliance shall be established by medication adherence -interview study from our inpatients-

Nagaoka Central General Hospital, Department of pharmacy, pharmacist

Makiko Kondo, Masako Hamazaki, Hisaha Takizawa, Tatsuya Saito

Objective : We reviewed our medication instruction method to the patients who had bringing medicine on the basis of medication adherence.

Study design : We interviewed 66 inpatients in 8th western ward, gastroenterological medicine, about their outpatient medication compliance.

Results : 51.5% of patients had problems with medica-

tion compliance whereas 48.5% of patients did not forget taking medicine and could take it every time.

Conclusion : About half outpatients showed poor medication compliance. Good medication adherence is important to support their medication compliance. Pharmacists should improve their ability of problem-resolution and communicative competence, and provide an easy-to-understand advice after listening patient's complains.

Key words : medication compliance, medication adherence

### 初回面接情報

(氏名 様)

初回面接日 年 月 日 面接した相手 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		担当 薬剤師
薬物副作用・アレルギー発現歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 原因物質 症状/時期		入院前の薬の管理 自己管理 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 患者本人 <input type="checkbox"/> 家族 ( ) <input type="checkbox"/> 他のキーパーソン
食物アレルギー歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 原因物質 症状/時期		入院前のコンプライアンス <input type="checkbox"/> 毎回服用 <input type="checkbox"/> 時々忘れる <input type="checkbox"/> 調節している <input type="checkbox"/> その他
OTC薬の使用 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		持参薬 → 別紙参照 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 当院 科 (Dr. ) 他院 科 ( )
健康食品の使用 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有		
嗜好等 アルコール <input type="checkbox"/> 飲む / Day <input type="checkbox"/> 飲まない タバコ <input type="checkbox"/> 吸う / Day <input type="checkbox"/> 吸わない (Stop 年 / Day その他		薬に対する理解状況 良 可 不可 ・薬品名 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・薬効 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・用法・用量 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・副作用 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・服用忘れ時の対処 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・指標となる検査値 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・相互作用 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・服用の意義 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・自己注射の手技 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・保存方法 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ・その他 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
体質 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 神経質 <input type="checkbox"/> 胃弱 <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 肥満 <input type="checkbox"/> 便秘しやすい <input type="checkbox"/> 下痢しやすい <input type="checkbox"/> その他		特記事項 上記患者に服薬指導することに同意します 医師: 入院: 年 月 日 退院: 年 月 日

2011.7 1,000 1

図1 当院薬剤部で使用している初回面接用紙

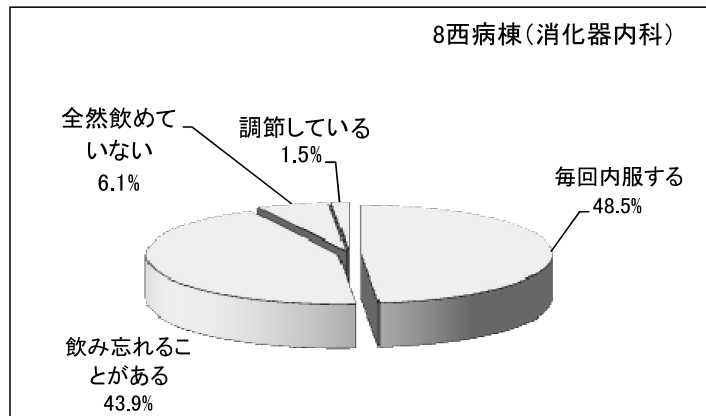


図2 8西病棟における持参薬の服薬状況

(2011/09/06受付)